

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 加茂農林高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年11月19日(水) 13:30～15:45
- 3 開催場所 加茂農林高等学校 会議室
- 4 参加者

会 長	大橋 薫子	岐阜県農業大学校長
副会長	長尾 久	農業法人代表
委 員	日比野安平	地域住民
	渡辺 祥二	農業法人代表
	酒向 光世	医療法人管理職
	武田 由美	美濃加茂市教育委員
	井戸 肇	同窓会長(欠席)
	佐藤 真央	PTA役員
学 校 側	金本 淳	校長
	野村美由紀	事務部長
	斉藤 寧子	教頭
	長屋 貴	教務主任
	玉木 信悟	生徒指導主事
	森本 達雄	進路指導主事
	佐藤 一喜	農場長

### 5 会議の概要(協議事項)

・学校長挨拶

#### (1) 本校の教育活動について

- ・自然科学部による研究成果、英語スピーチコンテスト入賞者の発表
- ・生徒・保護者対象「学校評価アンケート」について
- ・令和7年度進路状況について

### 6 ご意見・ご提言

意見1：インターンシップ等で生徒と接する機会に将来の進路について問いかけると未定な生徒が多い。農業高校の学びから、早い段階で将来の可能性を伝え、進路意識を高める必要がある。

意見2：農業従事者と語る井戸畑会議では、将来の「夢」を持っていると答える生徒がいない。将来に希望を持つよう可能性を信じる習慣をつけてほしい。

意見3：研究発表や英語スピーチを拝見し、発表のレベルが高く嬉しく思う。全国規模の取り組みを、中学校説明会などで積極的にアピールするべきである。

意見4：これからの学校運営はSNSを取り入れて広報していくべき。中学生はInstagramなどで情報を集めている。また、学校の活動をホームページだけでなく、公式のSNSを開設し発信していくと、保護者も学校の活動がわかり良い。

- 意見 5 : 加茂農林高校の生徒は、他者とコミュニケーションをとるのが得意な生徒が多い。  
英語スピーチコンテストの挑戦やボランティアの参加など、生徒が成長し変わるきっかけとなっている。
- 意見 6 : 学校評価アンケートの保護者回答で「分からない」が多く占めるのは、子どもの学校での生活に不安がなく関心が薄いのではないか。重要度の高い連絡については、それが伝わるよう連絡していくべきである。
- 意見 7 : 働き方も時代の流れで変わり、労力の軽減につながるため、アンケートの回答についてもどんどんパソコンやスマートフォンでできるように変えていくべきである。
- 意見 8 : 親も子も、大きな夢と希望をもたせるような学校教育を目指してほしい。
- 意見 9 : 生徒たちとの関わり合いの中で、「携帯電話のない時代に生まれたかった。」という発言が印象的だった。活動の良し悪しを SNS の「いいね」ボタンの数で測る世の中は、圧をかけられ行動が制限されるのではないか。中部台パークでのイベントの運営を任せているが、自分たちでやるとそれが自信となり自分の言葉で話すことができるようになり、地域活動にも光が見えてくる。もっとわがままであっていい。
- 意見 10 : 今の子供たちは、SNS を上手に使っているが、付き合い方は保護者や学校が注意してほしい。教師の役割は時代とともに変わってきている。休日の地域行事への参加や部活動指導など、熱心な先生ほど回数が多くなる。学校でできることは限界があるため、障がい者雇用や地域の人材とうまくマッチングさせ、外部に委託できるところは委託するべきである。
- 意見 11 : 緑園祭の OB バザーに出店したが、農水省の職員に研修として参加してもらった。学校の雰囲気が高く、生徒が純粋でコミュニケーション力が高いと驚かれていた。
- 意見 12 : 携帯電話のない時代は、想像する時間が多くあった。仕事の効率化の上でデジタルに移行していくが、アナログな部分も大切にしてほしい。
- 意見 13 : AI が発達した現在、本当に正しいか判断する力が必要で、考えさせることが大事である。加茂農林高校の守備範囲の広い活動に驚く。農業の学びの中で観察・発見し理由を考えることができている。

## 7 会議のまとめ

- ・本校の取組について励ましの言葉や前向きな意見をいただいた。農業高校として、将来の「夢」を語ることができる生徒の育成を望む声が多かった。
- ・第 1 回学校運営協議会では、生徒の授業の様子を見学していただき、第 2 回学校運営協議会では生徒の特別活動の成果発表をみていただいた上で協議に入ることができた。
- ・委員には、普段からインターンシップや課題研究など、生徒の学習活動に深くかかわっていただいており、生徒の実態を把握した上で、これからの学校教育に望むことについて多くの意見をいただくことができた。
- ・1 月 28 日（水）に実施予定の第 3 回学校運営協議会では、本年度の学校の取組と次年度に向けた学校運営方針について、委員からの助言や提言を受け、学校運営のあり方を模索しつつ、修正していく。
- ・本協議会は、引き続き学校が抱える課題を地域と共有し、委員の視点から助言を得る場としたい。